

内部監査の実施状況

研究機関名	共立女子大学
-------	--------

- 1 チェックリスト提出年度の前年度に研究機関において管理した科研費の課題数・金額、チェックリスト提出年度に監査を実施した(予定を含む)課題数及び監査対象課題の選定方法について記入してください。
 なお、「研究機関において管理した」とは、配分された競争的資金等について、研究機関の長の責任の下に執行され、研究機関において証拠書類を保管していることをいいます。

前年度に管理した課題数			前年度に管理した金額(単位:円)			監査実施課題数	選定方法 (例:取引先が特定の業者に偏っている課題、支出が年度末に偏っている課題、交付金額の多い課題(上位〇%)、無作為抽出 等)
研究代表者分	研究分担者分	計	研究代表者分	研究分担者分	計		
25	21	46	21,917,905	7,455,449	29,373,354	4	学部ごとの抽出、交付金額の多い順、原則として同じ研究者の監査を連続して実施しない。

- 2 内部監査の結果、問題のあることが判明した場合は、その対応状況について具体的に記載してください。

(行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

問題の具体的な内容	対応状況	対応の具体的な内容

- 3 チェックリスト提出年度に実施した又は実施予定の内部監査の実施状況について記入してください。

なお、特別監査は、通常監査の一部について、書類上に止まらず、実際の研究費使用状況や納品状況等の事実関係の厳密な確認などを行うものをいいます。

(行を追加する場合、又は追加した行を削除する場合は、左のボタンを押してください。)

実施期間	実施者	通常監査		特別監査	
		監査実施課題数	監査の内容・結果	監査実施課題数	監査の内容・結果
平成27年7月～9月 実施	藤野監査員 大聖監査員	2	学術研究助成基金助成金 1.帳票類点検 当該補助事業執行管轄課の帳票類について 収支簿及び予算執行関係(見積書、納品書、請求書、領収書等の有無と整合性の点検) 及び出張関係書類を確認した。 2.監査結果 帳票類は適正な収支管理であった。	1	学術研究助成基金助成金 1.帳票類点検 当該補助事業執行管轄課の帳票類について 収支簿及び予算執行関係(見積書、納品書、請求書、領収書等の有無と整合性の点検) 及び出張関係書類を確認した。 2.現物照合実査 通常鑑査を基に研究代表者立ち合いの下で、収支簿により科研費購入物品の管理・使用状況 について現物照合実査を行った。 3.監査結果 帳票類、物品使用状況、適正な収支管理、物品管理が行われていた。
		1	科学研究費補助金 1.帳票類点検 当該補助事業執行管轄課の帳票類について 収支簿及び予算執行関係(見積書、納品書、請求書、領収書等の有無と整合性の点検)等 の書類を確認した。 2.監査結果 帳票類は適正な収支管理であった。		